

## 【農業水利・土地改良・農村環境整備】

農地の排水事業計画における許容湛水に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

水田の排水計画における許容湛水は、水稲の湛水被害との関係から導かれている。水稲の生育時期、湛水深及び湛水時間の関係によって湛水被害の程度は異なる。水稲の生育時期と湛水被害の関係では、水稲が□A□にあるときに湛水被害（減収率）が最も大きくなりやすい。水田の排水計画では、□A□及び、その他、日本で湛水被害が発生しやすい7～9月の水稲草丈を考慮して、許容湛水深は□B□を標準としている。さらに、許容湛水深を超える場合でも、湛水が短時間であれば被害の程度は比較的小さいことから、許容湛水深を超える場合の湛水の許容継続時間は□C□以内としている。

一方、畑地または汎用農地（水田畑利用）の排水計画における許容湛水は、原則として無湛水としている。

	A	B	C
1. 分けつ期		30 cm	72 時間
2. 分けつ期		60 cm	24 時間
3. 穂ばらみ期		30 cm	24 時間
4. 穂ばらみ期		60 cm	72 時間
5. 成熟期		30 cm	24 時間

【農業水利・土地改良・農村環境整備】

表は、農業用水の水質に係る環境基準の基礎資料とするため、昭和45年に農林省公害研究会が学識経験者、研究者等の協力を得て、水稲を対象として策定した、農業（水稲）用水基準\*である。表中のア～オには「以下」か「以上」が入るが、「以上」が入るのはどれか。

\*基準策定時以降に単位の表記方法が変更になったことから、単位は現行の単位系で表記している。

項目	基準値
pH（水素イオン濃度）	6.0～7.5
COD（化学的酸素要求量）	6 mg/L <input type="text" value="ア"/>
SS（無機浮遊物質）	100 mg/L <input type="text" value="イ"/>
DO（溶存酸素）	5 mg/L <input type="text" value="ウ"/>
T-N（全窒素濃度）	1 mg/L <input type="text" value="エ"/>
EC（電気伝導度）	300 $\mu$ S/cm <input type="text" value="オ"/>
As（砒素）	0.05 mg/L 以下
Zn（亜鉛）	0.5 mg/L 以下
Cu（銅）	0.02 mg/L 以下

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ